

地域の誇り「宝」を基盤に 次代に「つなげ」ていく

にのへ型テロワール活動による 生産地域型観光まちづくり

岩手県二戸市 佐藤和貴



岩手県二戸市の概要

- 人口 26,751人（R1.8.1 現在） 面積 420km²
- 林野率67.1%の中山間地域
- 平成14年 東北新幹線二戸駅開業
- 平成18年 二戸市と浄法寺町が合併
- 生漆生産量 日本一
- 観光地 金田一温泉、天台寺
九戸城、馬仙峡

■アクセス

東北新幹線

東京 ⇄ 二戸 約2時間40分

東北自動車道

東京 ⇄ 浄法寺IC 約610km



○二戸市の人口・年齢構成・将来推計

【令和元年8月1日現在】

人 口 26,751人

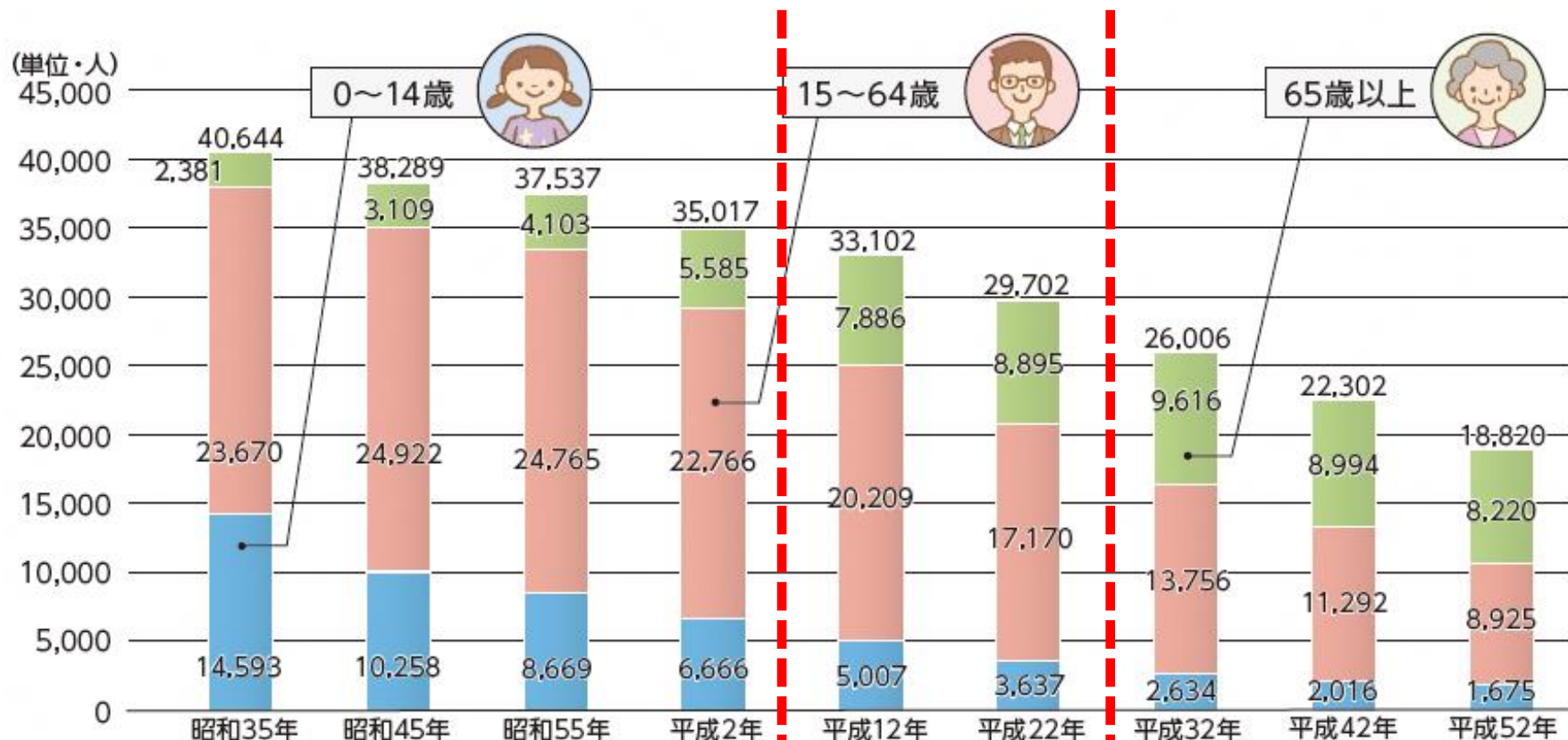
生産年齢人口 14,301人 (53.46%)

高齢者人口 9,743人 (36.42%)

(男：12,672人、女：14,079人)

(男：7,259人、女：7,042人)

(男：4,024人、女：5,719人)



資料：2010年まで国勢調査 2015～国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成25年3月推計）

宝探しによる地域おこしがスタートした 平成4年当時の二戸市は・・・

市は・・・

- 想像以上の財政的な厳しさ
ハードにお金をかけたくても、財政状況が厳しく
その資金がない

住民は・・・

- 自分のまちの発展を他人に任せていた
町並みが旧態依然で変わらない
まちの将来について関心がない
自らのまちについてあまり知らない

宝さがしの経過

- 楽しく美しいまちづくり推進委員会（平成4年7月）

市民30名と市職員29名

固有の市の宝を発見するために10項目の
アンケート調査とヒアリングを実施



- 7371件の回答が寄せられた

6分類 自然、生活環境、歴史文化、産業、名人、要望

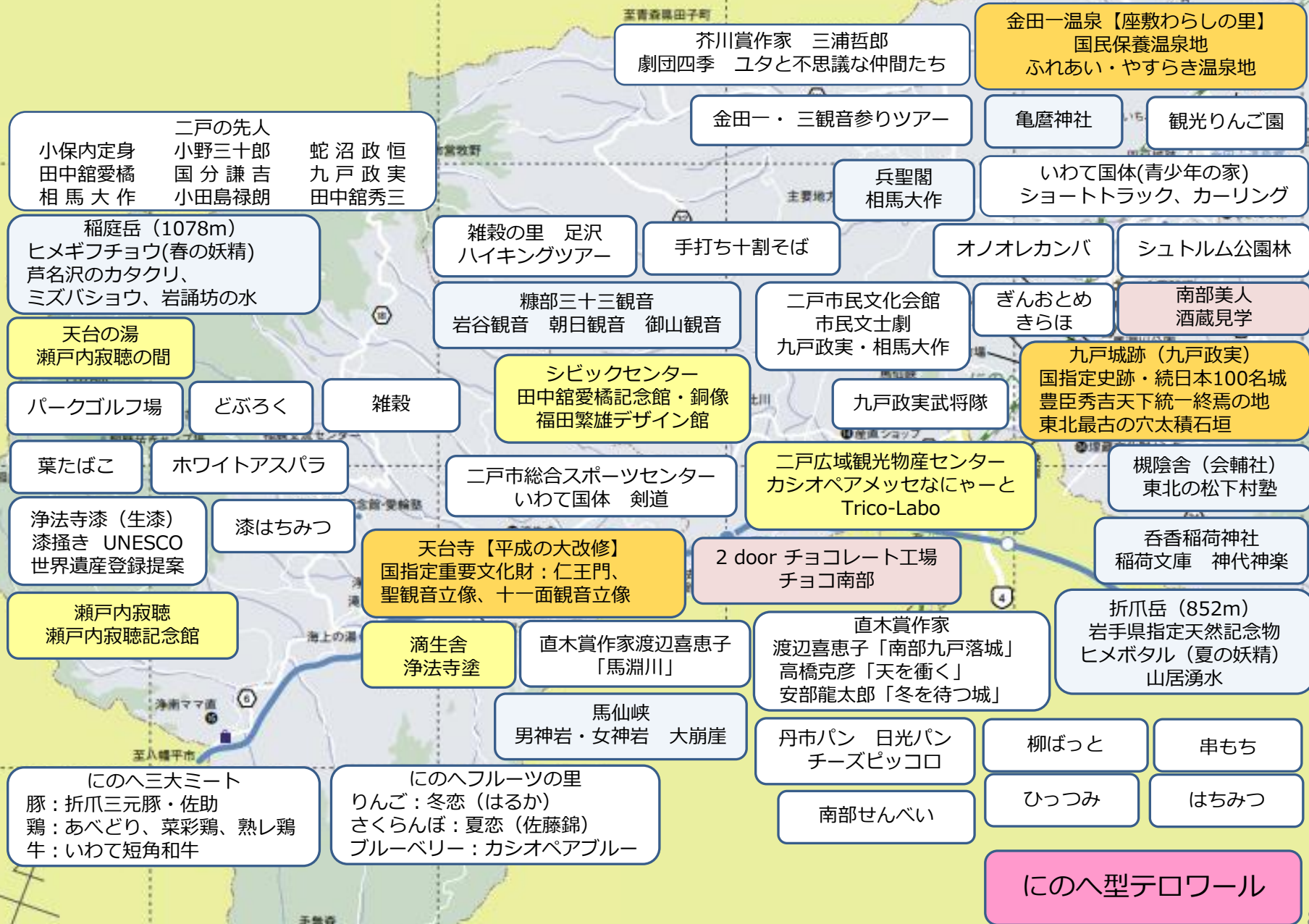
9地区10ゾーン の地域振興テーマ



宝資料集 全5巻及び索引集



にのへの宝





カワシンジュガイ

二戸市宝を生かしたまちづくり条例

(趣旨)

第1条 この条例は、宝を生かしたまちづくりの基本理念を明らかにするとともに、その他必要な事項を定めるものとする。

(基本理念)

第2条 宝を生かしたまちづくりは、広く市民が慣れ親しみ、誇りとし、育まれてきた自然、歴史、文化及び人物を二戸市の宝と位置付け、市民参加によりこれらを守り、活用し、将来にわたって継承するものとする。

(市の責務)

第3条 市は、市政に前条の基本理念が反映されるよう努めるものとする。

2 市は、宝が汚損、損傷、又は消失されるおそれがある事業又は行為について、これらの実施主体に対し、前条の基本理念が反映されるよう協力要請に努めるものとする。

3 市は、市民が主体的に宝を生かしたまちづくりについて考え、活動することができるよう、その条件の整備に努めるものとする。

(市民と市の協働)

第4条 市民は、宝を生かしたまちづくりの推進について、市との協働に努めるものとする。

(宝を生かしたまちづくり活動への支援)

第5条 市長は、宝を守り、活用することを目的として活動する者を支援することができる。

(宝を生かしたまちづくり推進委員会)

第6条 宝を生かしたまちづくりに関する事項を調査、審議するため、宝を生かしたまちづくり推進委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2 委員会の委員は20人以内とする。

3 委員会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(補則)

第7条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成12年11月1日から施行する。



宝「さがし」から宝「おこし」、そして地方創生へ

○二戸市の「宝を生かしたまちづくり」（平成4年～）、宝を生かしたまちづくり条例（平成12年）

①宝を「さがす」

地域が持つ自然や文化、産業、人などの資源を住民自らが発掘、再発見する

②宝を「みがく」

発掘、再発見した宝を、保存、伝承、発展させる

③宝を「ほこる」

宝の価値を認識し、地域の中でその価値認識を共有する

④宝を「つたえる」

地域の外に向かって、宝を発信する

⑤宝を「おこす」

宝を活用して、産業に結びつける



宝をおこして、
さらに発展させる！
ために…

漆文化の
振興

公民連携
まち再生

観光DMO
組織化推進

拠点施設
整備

二戸型
テロワール
推進

宝を「つなげる」

稼げる
地域へ!!

全国エコツーリズム大会 in 岩手にのへ



日本の生命の源を旅する。
全国エコツーリズム大会
in 岩手にのへ



シンポジウム

「雑穀文化」をテーマに、地域の宝自慢による交流人口の拡大を図るとともに、東日本大震災の被災地復興支援を目的に開催のべ1,839名参加。

参加者は人情味あふれるおもてなしと食文化を体感し、地域も参加者との交流により喜びを感じた3日間であった。



交流会



エコツアー

にのへの宝を生かした事業展開

【にのへブランド 海外発信事業】

～小さなまちの大きな挑戦～

平成25年～29年（5年間） 世界の中心都市ニューヨークでシティプロモーション

浄法寺漆と日本酒をテーマに、セミナー、商談、プロモーションを展開

◎販路拡大と市のブランドイメージの向上

◎販路拡大による地場産業の振興

メトロポリタン美術館との連携

メトロポリタン美術館の学芸員と連携し、二戸の漆生産の現場視察や生産者との意見交換

メトロポリタン美術館の自主事業であるSUNDAY at The METにおいて、日本の漆文化を支えてきた浄法寺漆の魅力を伝える講演

にのへ型テロワール事業への展開

5年間のブランド海外発信事業によりモニタリングを行ってきたニューヨークモデルの漆器を含めたテロワール事業への展開



宝を興す【にのへ型テロワール事業の展開】

これまで続けてきた、地域の魅力を発信する取り組みを
引継ぎ、連携しながら、新しい視点により事業を展開

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| 平成 4 年～ | 宝を生かしたまちづくり始まる |
| 平成 2 3 年～ | 全国エコツーリズム大会開催 |
| 平成 2 5 年～ | 小さなまちの大きな挑戦
(にのへブランド海外発信事業) |
| 平成 2 8 年～ | 公民連携まち再生事業
地方創生に向けた各種連携協定 |
| 平成 3 0 年～ | にのへ型テロワールプロジェクト |

継承
・
発展
・
深化

稼げる
地域へ!!



令和元年9月12日 第5回ジャパン・ツーリズム・アワード 国内外209件から選定
表彰式：令和元年10月24日 ツーリズムEXPOジャパン2019大沢・関西
二戸市 入賞 地域の誇り「宝」を基盤に、次代に「つなげ」ていく「にのへ型
テロワールプロジェクト」活動を展開し、「二戸ブランド」創造を
進める「生産地域型観光推進のまちづくり」の取り組みが評価された。



にのへ型テロワールとは・・・

二戸の風土や歴史、文化を地域の物語（ストーリー）として伝えながら、「にのへの宝」を五感（味覚、嗅覚、視覚、聴覚、触覚）で体験し、味わっていただく「産業体験型観光」を堪能するためのキャッチフレーズとして表現したもの

二戸の宝を体験する満足度の向上のためのストーリー作り、つながりを作り、仕組み作りを通して、域内の拠点をつないで誘客を図っていく取り組み

テロワールの由来

「土地」を意味するフランス語terre（テレ）から派生した言葉

もともとは、ワインやコーヒー、お茶などの品種における、生育地の土壌や気候・地勢による特徴を意味

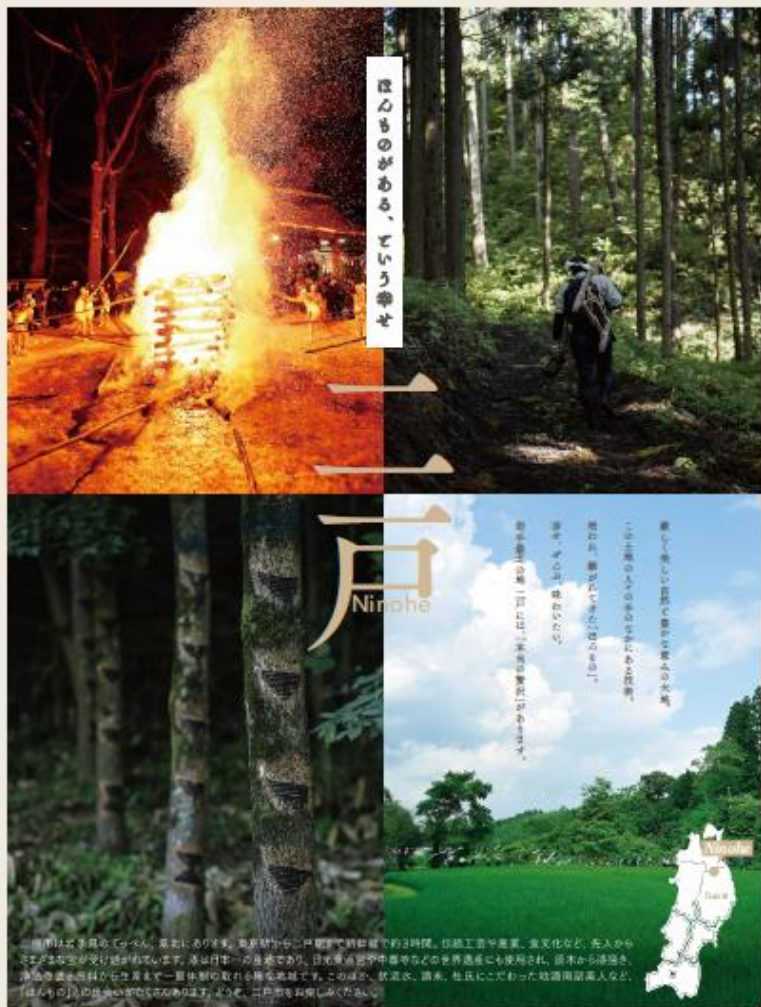
フランスでは、土壌や気候、作り手など、ワインができるまでの背景を理解しながらワインの個性・特性の違いを楽しむ

「にのへ型テロワール」を発信

二戸市は、伝統工芸や産業、食文化など、さまざまな宝が先人より受け継がれています。

なかでも漆は、日本一の産地。日光東照宮や中尊寺などの世界遺産にも使用され、漆掻き職人が掻いた高品質の漆で仕上げる浄法寺漆器は使うほどに艶が出る逸品です。

このほか、伏流水、酒米、杜氏とこの地にこだわり造られる地酒南部美人は、世界一の評価を頂戴するなど、にのへには多くの「本当の贅沢」があります。二戸の厳しくも美しい風土、清らかな水、空気、大地の中で育てられ、つくり上げられる商品を背景とともに、「ほんものとの出会い」をお楽しみください。



株式会社 南部美人



南部の土地で仕込まれた純粋で美しい日本酒のイメージから南部美人と命名されました。二戸の栄と志を二戸の杜氏が仕込んだオール二戸産の特級純米酒が、インターナショナル・ワイン・チャレンジ 2017 SAKI部門にてチャンピオン・オヴを受賞しました。世界一の日本酒でこの一歩をゼロワールをお楽しみください。



久慈ファーム有限公司



美顔から加工まで一貫生産にこだわって行っております。低誘導性は、キメの細かい性質が特徴です。顔までバランスよく入った後は、高い温度で分解されるので、口の中でスッと溶け出します。また、保水力のある赤みは蓄えたうまみを逃さないで、アツが油にくいお肉です。



滴生舍



海を命は、古文の『經』の意である二戸の海に命とある海に命の3つめの専門誌、『生命の海』『人と共にする海』それが海を命の名前の山文です。海は命が人が手に持った海の一海一海から、暮らしによりそう、世説いがあるシンプルでありのこない海図作りをしています。



GINGADO
1890
Sweet & Bakery

United Chocolate

うるし・ショコラ・キャラメル・サレ



法の適用に二戸住宅を争う。法廷づくしに必要な法、その法の次から3回日うる10日間ほど。6回とない3回の夜があります。その真意な話の要する事に仕上げた二戸住宅を争う(る。編著)。つまり言いキョウメルと、(る)はパレンクの読みのなる事(り)で仕上げるが、パンダシヨコで、パレンクエがひびくこと(り)で仕上げる。法廷のよじ取りやて上品なフォルムと善いパレンクの理をうまくいかに

二戸市の経済を牽引する企業



株式会社 南部美人



株式会社 小松製菓



株式会社 十文字チキンカンパニー



株式会社 阿部繁孝商店

○ 二戸市の農業 ～若手農家の活躍～

- ・ 2016年 市町村別農業算出額 261億円（東北 第6位）
うち 養鶏（ブロイラー）204.7億円（全国 第1位）
- ・ ブランド果樹（冬恋、夏恋、カシオペアブルー）、ホワイトアスパラ、
三大ミート（短角牛、三元豚、ブランド若鶏）は、首都圏などで高い評価



ビタミンB群が豊富で
美容効果が高い。また、
貧血予防に効果的な
ヘム鉄や脂肪燃焼に効
果的なカルニチンを多く
含む。



糖分をエネルギーに変え、
皮膚や粘膜の生成を
促したり、体内の酵素の
働きを促し、疲れを予防
したりするビタミンB1
が豊富。



ヘルシーで高タンパク。
ビタミンAやビタミンB群、
ビタミンKなど、数種類の
ビタミンが含まれ、必須
アミノ酸がバランスよく含
まれている。



地方創生に向けた取り組み 【公民連携まち再生事業 1】

○天台寺地区



天台寺：2020年3月 保存修理完成見込



天台寺名誉住職
「瀬戸内寂聴」



浄法寺漆芸の殿堂
「滴生舎」



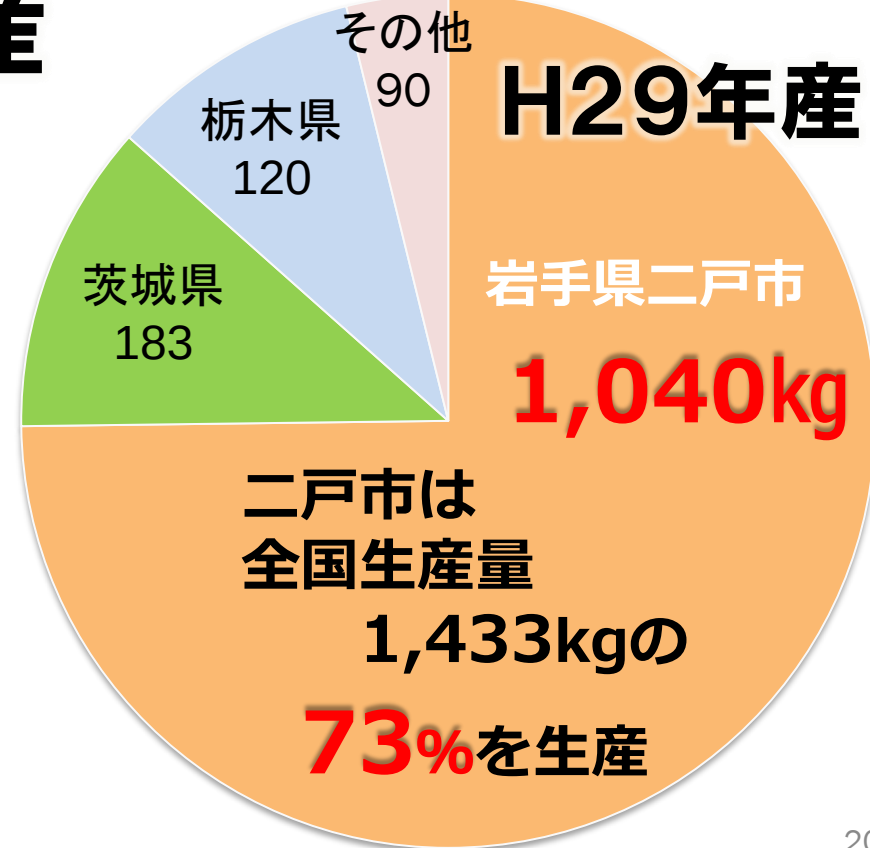
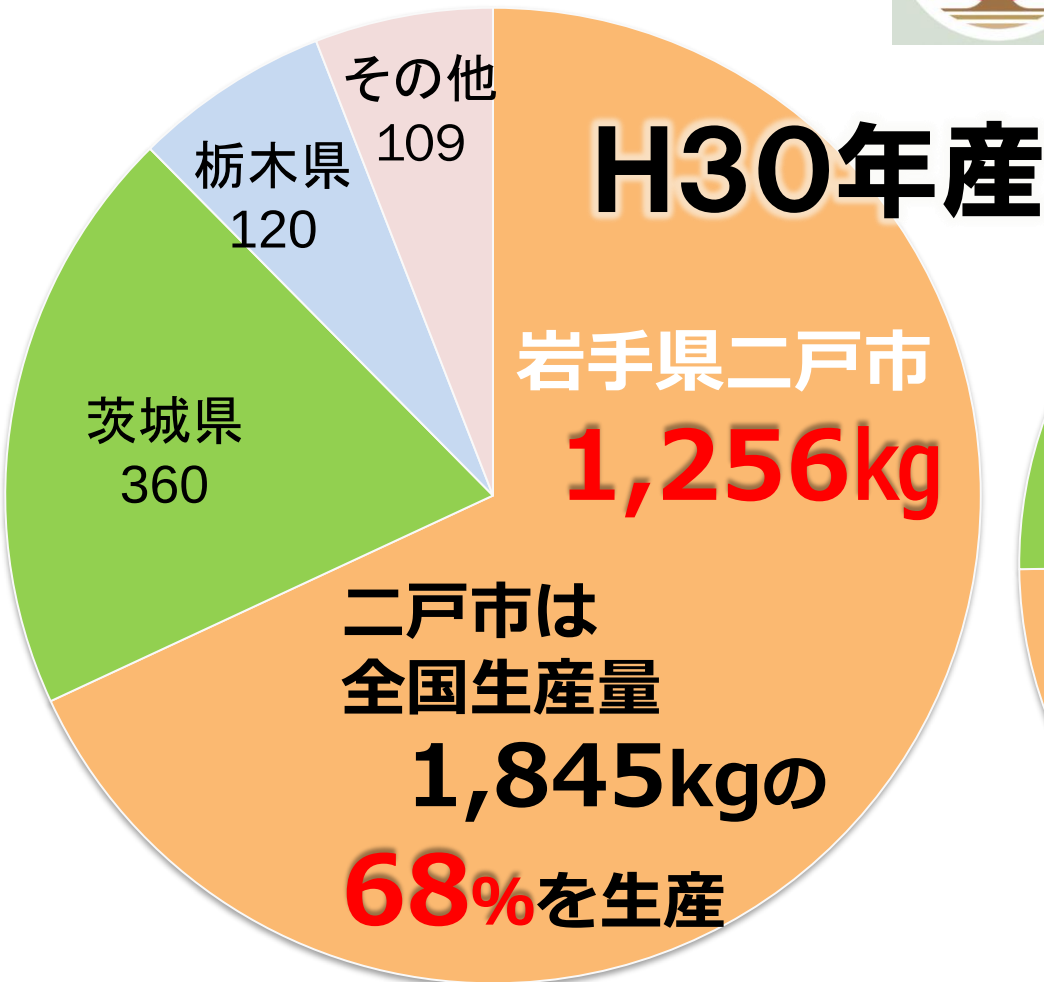
漆産業や歴史と連動したまちづくり

日本産生漆のH29、30年産 生産状況

国産生漆の生産量(kg) (『特用林産基礎資料』 林野庁)

国内で流通する

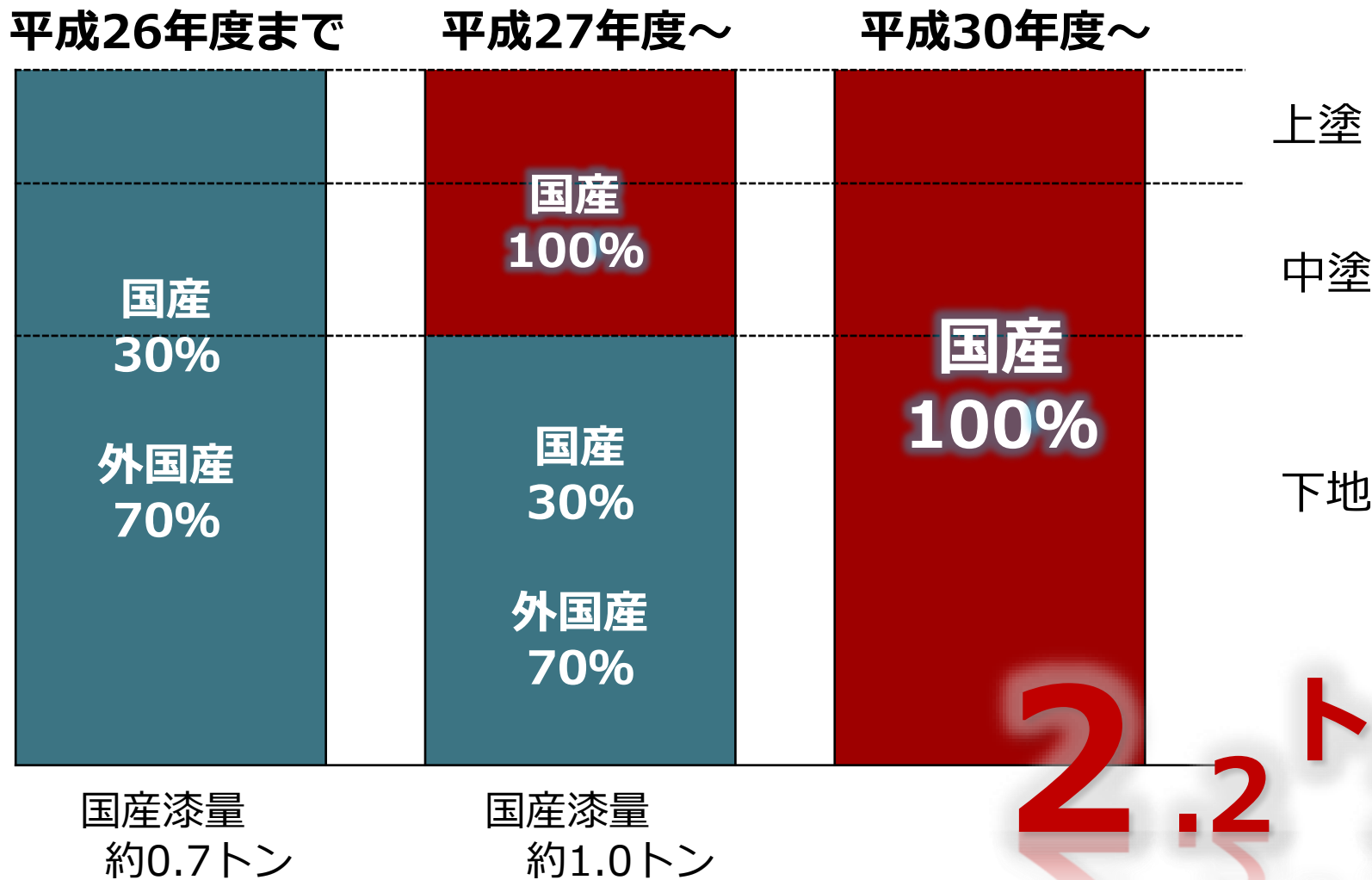
国産生漆は **約3%**



国産漆の使用拡大の方針【需要量】

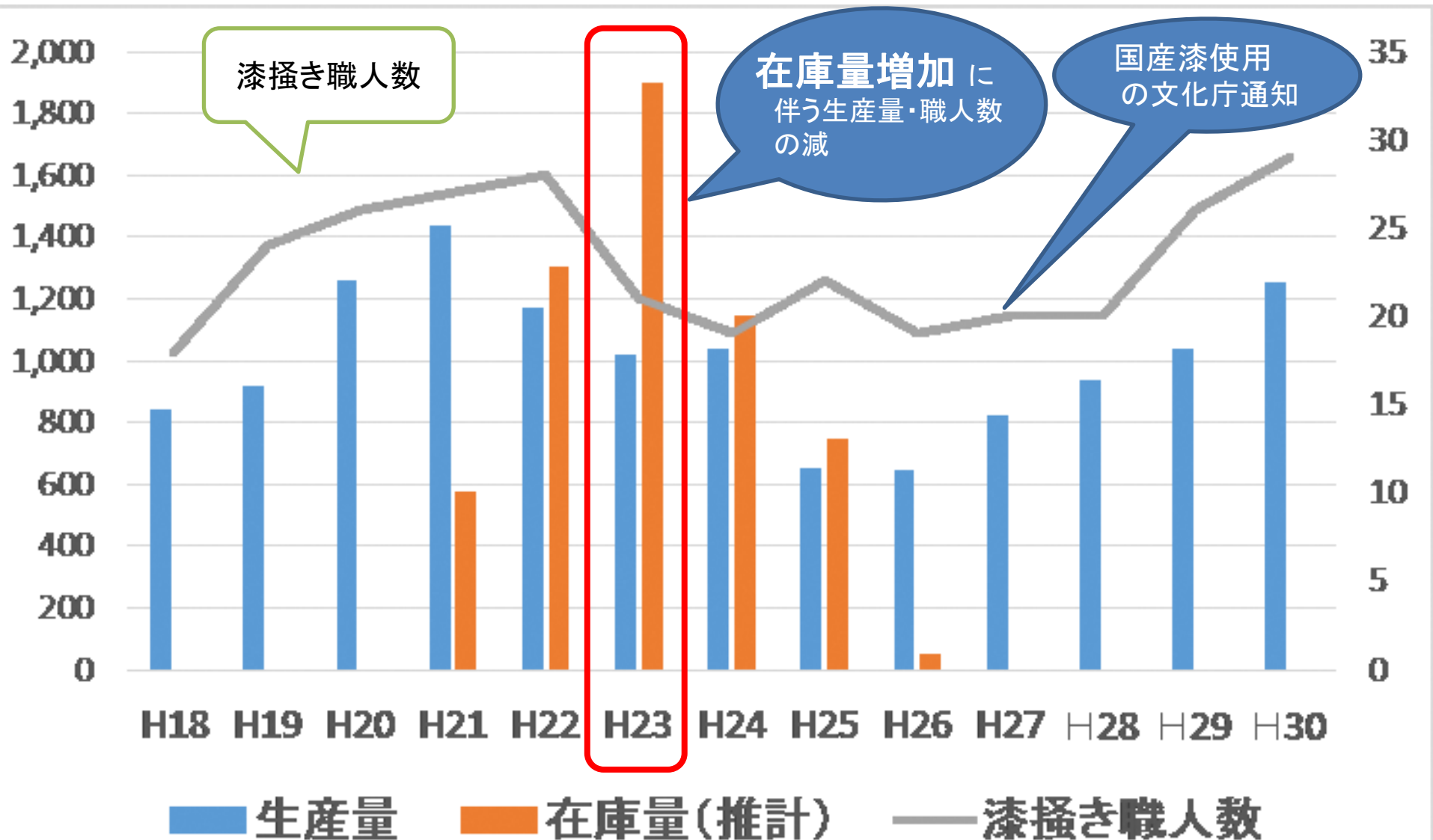


(平成27年2月・文化庁通知)



【国宝・重要文化財に必要な国産漆の需要量】

浄法寺漆の生産量・在庫量・職人数の推移



ウルシの植栽状況

H29年度原木調査結果

【二戸市内】 ※採取可能な原木本数



項目		H29年度	H21年度	増減
浄法寺	箇所数	313	222	91 箇所の増
	原木本数	89,000	93,000	4 万本の減
二戸	箇所数	379	442	63 箇所の減
	原木本数	53,000	67,000	1.4 万本の減
合計	箇所数	692	664	28箇所の増↑
	原木本数	142,000	160,000	1.8万本の減↓

原木所有者の高齢化、原木価格の低下

原木必要本数

国宝・重要文化財の修理修復に必要な国産生漆は、2.2トンとされている。



需要見込

原木必要本数

2トン → 180,000本

H29年度生産量 1,040kg

原木調査後(確定値) 14万2千本

H30年度生産量 1,256kg

生産量50kg × 職人40名

漆の木1本から採れる生漆の量は約200cc程度、殺し掻きと言われる採取方法により1本の木から全ての漆を取り付け、採取後は木を切り倒す。苗を植栽してから漆の木が掻ける状態になるまで15年を要する。萌芽更新の場合は10年が必要

職人40名 × 原木300本 × 15年

H29年度職人数 26名

H30年度職人数 29名

年間2tの生漆生産には、40人の職員に300本の漆の木が必要で、毎年1万2千本切り倒すことになる。

浄法寺漆にこだわった『ものづくり』

地域おこし協力隊の活用 【うるしびと】【漆林フォレスター】
岩手県浄法寺漆生産組合への加入、日本うるし掻き保存会との連携
二戸市浄法寺漆産業振興基金の設置、漆原木管理システムの導入



浄法寺塗



使用者

ふるさと
納税寄附

漆苗
生産

浄法寺漆認証制度



浄法寺漆
じょうほうじうるし

浄法寺漆 に
こだわったものづくり

木地

漆掻
職人

育成
管理

漆の林づくり
サポート事業

農地の漆
植栽事業

うるわしの森
整備推進



東日本大震災からの復興支援に感謝いたします。
これからも 宝を磨(みが)き 興(おこ)し 繋ぎつないでいきます。

